

令和6年度

東北農政局いわき地域センター常磐上矢田庁舎解体撤去工事

特 別 仕 様 書

東 北 農 政 局

第1章 総 則

東北農政局いわき地域センター常磐上矢田庁舎解体撤去工事の施工に当っては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書」（以下「解体共通仕様書」という。）、「公共建築工事標準仕様書」（以下「建築標準仕様書」という。）及び農林水産省農村振興局制定「土木工事共通仕様書」（以下「土木共通仕様書」という。）に基づいて実施する。

共通仕様書によるほか特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、東北農政局いわき地域センター常磐上矢田庁舎の解体撤去を行うものである。

2. 工事場所

福島県いわき市常磐上矢田町田端25-1

3. 工事概要

本工事の概要は、次のとおりである。

- 1) 庁舎解体撤去 1棟
(鉄筋コンクリート造2階建 延床面積398.2㎡ 電気設備・機械設備含む。)
- 2) 車庫解体撤去 1棟
(軽量鉄骨造平屋建 延床面積26.42㎡)
- 3) 外構解体撤去 1式
(囲障、場内舗装、屋外排水設備、電気・機械設備(屋外)、雑工作物等)
- 4) 整地 1式
- 5) 立入防護柵及び有価材置場設置 1式
- 6) 産業廃棄物処理 1式

4. 工事数量

別紙工事数量表のとおりである。

第3章 施工条件

1. 庁舎解体の施工機械

庁舎解体は、コンクリート圧砕機による施工を考えている。

2. 工事を施工しない日及び工事を施工しない時間帯

- (1) 工事を施工しない日 原則、土曜日、日曜日、祝日、年末・年始(12月29日～1月3日)ただし、発注者と受注者の間で協議の上、別に定める場合はこの限りで無い。
- (2) 工事を施工しない時間帯 平日の午後5時から午前8時まで。ただし、発注者と受注者の間で協議の上、別に定める場合はこの限りで無い。

第4章 現場条件

1. 工事用電力及び用水

本工事に使用する電力設備及び用水は、受注者の責任において準備しなければならない。

2. 第三者に対する措置

(1) 本工事の施工に当たっては、第三者に対する災害防止と粉塵飛散防止のための対策を施すものとする。

(2) 本工事場所は都市計画法（昭和43年法律第100号）第9条第5項に規定する第2種地域で、振動規制法（昭和51年法律第64号）第3条第1項に規定する第2種区域の近隣商業地域かつ騒音規制法（昭和43年法律第98号）第3条第1項に規定する第3種区域の市街化調整区域であり、騒音、振動等の対策については、十分に配慮するとともに、地域住民との協調を図り工事の円滑な進捗に努めなければならない。

(3) 保安対策

1) 本工事に配置する交通誘導警備員は、原則として警備業法に定める警備員（指導教育責任者講習修了、指定講習、または、基本教育及び業務特別教育を受けた者）であって、交通誘導の専門的な知識・技能を有する者とする。

2) 交通誘導警備員の配置は、下表のとおりとするが、条件変更、道路管理者及び所轄警察署の打合せ結果、又は現地交通状況等により、新たに交通誘導警備員が必要な場合は、監督職員と協議するものとする。

配置場所	交通誘導警備員	編成	昼夜別	交代要員の有無
主要地方道 小名浜・平線 庁舎敷地出入口部	1名／日	1名	昼間	無

(4) 公共道路の使用に当たっては、地域住民及び一般車両の通行を優先し、通行に支障を及ぼさないよう受注者において事故防止に努めなければならない。

また、善良な道路使用にも関わらず路面等の補修が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

なお、受注者の責により当該道路に損傷を与えた場合は、速やかに関係者と協議の上、受注者の責任により復旧するものとする。

(5) 工事用車両による公共道路の路面汚濁の防止及び、路面清掃等の維持管理を行うものとする。

(6) 工事用車両の運行に当たっては、通学時間帯に配慮して行うものとする。

3. 関係機関との調整

本工事において、関係機関との調整が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

第5章 指定仮設

1. 騒音・振動対策

鋼製枠組足場に防音シート張りを設置するものとする。また、低騒音・低振動に努めるとともに、機械の使用にも配慮して施工しなければならない。

2. 粉じん対策

上記1のシート張りのほかに解体時の粉じん対策用の散水養生は、庁舎敷地内の上水道給水管に仮設水栓を設けて行うものとする。

3. 敷き鉄板

庁舎敷地出入り口に道路側溝の保護及び振動防止のため、敷き鉄板（ $t=22\text{mm}$ ）を敷設しているが、それ以外に必要な場合は監督職員と協議するものとする。

4. 安全対策（架空線等公衆物損事故防止）

共通仕様書第1編3-2-2一般事項1. 施工計画（2）において調査把握した工事区域内に存在する架空線等上空施設の下を横断する箇所には、高さ制限を確認するための安全対策施設（簡易ゲート等）を設置するとともに、重機等の横断に際しては適切に誘導員を配置し、誘導指示を行わなければならない。

なお、安全対策施設の設置等については、施工前に監督職員と協議するものとする。

第6章 工事用電力

本工事に使用する電力設備は、受注者の責任において準備しなければならない。

第7章 工事用材料

1. 規格及び品質

本工事で使用する主要材料の規格及び品質は、次のとおりである。なお、これによりがたい場合は、同等品相当の材料を使用するものとし、監督職員の承諾を得るものとする。

また、JIS規格品は、改正工業標準化法（平成16年6月9日交付）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場（JISマーク表示認証工場）での製造品とする。

（1）石材及び骨材

再生クラッシャーラン RC-40

2. 見本又は資料提出

主要材料及び次に示す工事材料は、使用前に試験成績書、見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。

なお、これ以外の材料についても監督職員が提出を指示する場合がある。

材 料 名	提 出 物
再生クラッシャーラン	試験成績書（第7章1（1）参照）
防音シート	カタログ・試験成績書
山砂	粒度分析表

3. 資材の調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。

また、購入費用及び輸送費用等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

資 材 名	規 格	調達地域等
再生砕石	R C - 4 0	いわき市
購入土（山砂）		いわき市
仮設材（敷鉄板）		いわき市

4. 工事に使用する土砂（購入土）について

受注者は、工事で使用する土砂を現場に搬入する前に、土砂が採取された箇所の土砂採取に係る関連法案の許可書の写しを監督職員に提出しなければならない。（採石法第33条による採取計画認可書、砂利採取法第16条による採取計画許可書、森林法第10条の2による林地開発許可書）

第8章 施 工

1. 一般事項

工事の着手に先立ち、実施工程表の補足として、週間又は月間工程表、工種別工程表等を作成し監督職員に提出するものとする。

2. アスベスト含有建材及び製品の撤去

(1) アスベスト含有外壁内壁塗装仕上げ及び下地調整剤撤去

庁舎の外壁吹付材、1階車庫・燃料庫・機器庫・調整室、2階書庫・倉庫の内装仕上げ材の除去は、石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第21号）における作業レベル2で同規則に基づいて作業計画書作成及び官公庁届出並びに報告書等適切に行うものとする。

(2) アスベスト含有煙突除去

庁舎2階の天井裏煙突のアスベスト含有煙突材の除去は、石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第21号）における作業レベル2で同規則に基づいて作業計画書作成及び官公庁届出並びに報告書等適切に行うものとする。

(3) アスベスト含有成形板撤去

庁舎1階風除室の天井材、1階会議室、2階会議室兼集計室・事務室・湯沸室の床仕上材のアスベスト含有成形板の撤去は、石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第21号）における作業レベル3で湿潤化したのち手ばらしでおこなうものとする。

(4) 撤去及び撤去後の細分と保護は、作業員が素手で触らないよう化学防護ゴム手袋、万一の飛散と吸引防止のため防塵めがね、防塵マスク、フィルターを着用して行うものとする

3. 電気設備の解体撤去

- (1) 電気設備の解体撤去に当たり、分電盤・ボックス類・照明器具（蛍光灯等含む）・スイッチ・コンセント・プレート等、及び目視可能な表面に設置されているものは、躯体の解体前に撤去し、不必要な破壊や混在を防止して分別集積するものとする。
- (2) 庁舎の躯体コンクリート等に埋設されている電線管及びケーブル等は、一体的に解体撤去を行い、分別集積するものとする。
- (3) 天井及び分電盤等器具類の解体後、ケーブル及び電線は引き出して撤去を行い、束ねて分別集積するものとする。

4. 機械設備の解体撤去

- (1) オイルタンク及びオイルサービスタンク並びにオイルポンプ・油管は、油や雨水の所在を確認し、抜き取りが必要な場合は廃棄物処理方法と処理施設先について監督職員と協議するものとする。油の抜き取り作業後、設備毎の廃棄物処理を行うものとする。
- (2) 地下浄化槽は、汚物や雨水の所在を確認し、抜き取りが必要な場合は廃棄物処理方法と処理施設先について監督職員と協議するものとする。

5. 建設資材廃棄物等の搬出

建設資材 廃棄物	処 理 施設名	住 所	受け入れ 時 間	事業区分
コンクリート殻、 くず（無筋、鉄筋）	磐城砕石（株）	いわき市好間町榊小屋 字道平1-12及び1-13	午前8時～ 午後5時	再資源化
アスファルト殻、 くず	磐城砕石（株）	いわき市好間町榊小屋 字道平1-12及び1-13	午前8時～ 午後5時	再資源化
木くず	遠野興産（株）	いわき市遠野町滝字島 廻49	午前8時～ 午後5時	再資源化
樹木（枝葉）	遠野興産（株）	いわき市遠野町滝字島 廻49	午前8時～ 午後5時	再資源化
樹木（抜根）	遠野興産（株）	いわき市遠野町滝字島 廻49	午前8時～ 午後5時	再資源化
畳	遠野興産（株）	いわき市遠野町滝字島 廻49	午前8時～ 午後5時	再資源化
廃プラスチック	（株）矢島礦業所	いわき市内郷宮町竹ノ 内88-130	午前8時～ 午後5時	最終処分
陶磁器くず、 タイル	（株）エコプランニ ング	いわき市泉町滝尻字亀 石町2-45	午前8時～ 午後5時	再資源化
ガラスくず	（株）エコプランニ ング	いわき市泉町滝尻字亀 石町2-45	午前8時～ 午後5時	再資源化

建設資材 廃棄物	処 理 施設名	住 所	受け入れ 時 間	事業区分
石膏ボード	(株) エコプランニング	いわき市泉町滝尻字亀石町 2-45	午前 8 時～ 午後 5 時	再資源化
石綿含有建材、製品 (非飛散性成形板) レベル 3	都築興産 (株)	いわき市遠野町上遠野字沢繁 8-1 外 31 筆	午前 8 時～ 午後 5 時	最終処分 埋立て
蛍光管	(株) エコプランニング	いわき市泉町滝尻字亀石町 2-45	午前 8 時～ 午後 5 時	再資源化
汚泥 (アスファルト舗装切断時濁水)	三山クリーン (株)	いわき市常磐藤原町湯の岳 2-66	午前 8 時～ 午後 5 時	最終処分

6. 発生材

- (1) 本工事の施工に伴い発生する建設副産物のうち、有価物スクラップの金属類は種類毎 (鉄筋、鉄くず、アルミ、ステンレス、銅管、銅線) に重量の計量を行い、発生材報告書を監督職員に提出するものとする。
- (2) 有価材は、庁舎解体後に計量が可能な計量所で計量した後、庁舎敷地内の指定された場所に集積するものとし、仮囲いを施して飛散しないように保管するものとする。
- (3) PCB 含有物 (蛍光灯安定器、盤内コンデンサ他) が存在した場合は、種類毎に重量の計量を行い、発生材報告書を監督職員に提出するものとする。処理方法または、保管場所は監督職員が指示するものとする。
- (4) アスベスト廃材は、密封処理 (二重梱包) とする。
- (5) 空調設備の冷媒フロン回収は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法) に基づき、各基準により適正に算定、充填・回収、破壊処理、証明書交付、記録・報告等を行うものとする。
- (6) 舗装切断に伴う排水等の処理
舗装切断に伴い発生する排水又は切削粉は、直接、現場外に排出することがないよう回収し、産業廃棄物として適正に処理するものとする。
なお、舗装材に使用する場合等には「舗装再生便覧」((社)日本道路協会発行)等を遵守する。

7. 特定建設資材の分別解体等

本工事における特定建設資材の工程毎の作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

工 程 ご と の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	工 程	作業内容	分別解体等の方法
	①建築設備・内装材等	建築設備・内装材等の 取り壊し ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()
	②屋根構造	屋根構造の取り壊し ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()
	③外装材・上部構造	外装材・上部構造の 取り壊し ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	④基礎構造	基礎の取り壊し ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑤その他 (構内舗装等)	その他の取り壊し ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

第9章 施工管理

1. 主任技術者の資格

主任 技術者の資格は、1級若しくは2級建築施工管理技士（建築）又は同等以上の資格を有するものとする。

なお、同等以上の資格を有する者とは、次の者とする。

- ・ 1級建築士又は2級建築士の資格を有する者

2. 施工管理

施工管理は、解体共通仕様書及び建築標準仕様書並びに土木共通仕様書によるものとする。

第10章 条件変更の補足説明

本工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは、設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

- 1) 地下埋設物の出現により撤去を変更追加する場合
- 2) 庁舎及び有価材一時置き場の仮設に変更が生じた場合
- 3) 交通誘導警備員の配置及び員数に変更が生じた場合
- 4) 仮設水道使用量（粉じん対策用散水）に変更が生じた場合
- 5) 雨水排水設備の撤去範囲に変更が生じた場合
- 6) オイルタンク及びオイルサービスタンク並びにオイルポンプ・油管内の廃油処理等に変更が生じた場合

- 7) 地下浄化槽内の汚物処理等を変更追加する場合
- 8) アスベスト含有建材の定性分析を変更追加する場合
- 9) 立入防護柵の延長を変更追加する場合
- 10) 建設資材廃棄物の搬出場所及び数量等に変更が生じた場合（受注者の責によらない）
- 11) 有価材の数量に変更が生じた場合（受注者の責によらない）
- 12) 熱中症対策に係る費用の変更が生じた場合
- 13) 現場環境（快適トイレ）の整備について、発注者及び受注者協議の上、整備に必要な費用の変更が生じた場合
- 14) 女性も働きやすい現場環境（トイレ・更衣室）の整備について、発注者及び受注者協議の上、整備に必要な費用の変更が生じた場合
- 15) 除雪の必要が生じた場合。
- 16) 設計変更に必要な調査、測量、設計、図面作成、数量算出を監督職員が指示した場合
- 17) 第三者との協議により変更が生じた場合
- 18) その他発注者及び受注者協議の上、必要と認めた場合

第11章 その他

1. 電子納品

工事完成図書は、建築標準仕様書 1 章 7 節に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・工事完成時の提出図書の電子媒体（CD-R 若しくはDVD-R） 正副 2 部
- ・工事完成時の提出図書 1 部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

2. 週休 2 日による施工

- (1) 本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して週休 2 日に取り組む旨を協議したうえで工事を実施する週休 2 日促進工事（受注者希望方式）である。

週休 2 日の取組の希望の有無を工事着手前に監督職員に工事打合書等で報告するものとする。週休 2 日の取組を希望しない受注者は（3）及び（4）に規定する義務を負わない。

- (2) 週休 2 日の考え方は以下のとおりである。

- ① 「週休 2 日」とは、対象期間において、4 週 8 休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- ② 「対象期間」とは、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始 6 日間、夏季休暇 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外とした内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。
- ③ 「現場閉所」とは、巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場が閉所された状態をいう。
- ④ 「4 週 8 休以上」とは、対象期間内の現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」という。）が、28.5%（8 日/28 日）以上の水準に達する状態をいう。なお、現場閉所率の算定においては、降雨、降雪等による予定外の閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

- (3) 受注者は、工事着手前に、週休 2 日の取得計画が確認できる「現場閉所予定日」を記載した「実施工程表」等を作成し、監督職員の確認を得た上で、週休 2 日に取

り組むものとする。工事着手後に、工程計画の見直し等が生じた場合には、その都度「実施工程表」等を提出するものとする。監督職員が現場閉所の状況を確認するために「実施工程表」等に「現場閉所日」を記載し、必要な都度、監督職員に提出するものとする。また、施設管理者の承諾を前提に週休2日促進工事である旨を仮囲い等に明示する。

- (4) 監督職員は、受注者が作成する「現場閉所日」が記載された「実施工程表」等により、対象期間内の現場閉所日数を確認する。
- (5) 予定価格のもととなる当初積算においては、4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）を前提に、下表に示す補正係数を労務に乗じている。

補正対象	4週8休以上	4週7休以上 4週8休未満	4週6休以上 4週7休未満
	現場閉所率28.5%（8日/28日）以上	現場閉所率25%（7日/28日）以上28.5%未満	現場閉所率21.4%（6日/28日）以上25%未満
労務費	補正係数 1.05	補正係数 1.03	補正係数 1.01

- (6) 発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、4週8休に満たない場合、上記に示す現場閉所率に応じた補正係数を用いて労務費を補正し、請負代金を減額変更する。

3. 熱中症対策に係る費用の計上

本工事は、次の熱中症対策を実施する場合については、受発注者間で必要な設置期間等を協議のうえ、設計変更により対応する試行工事である。

- 1) 遮光ネット（足場に設置するものに限る）
- 2) ドライミスト
- 3) 暑さ指数（WBGT値）の計測装置

4. 現場環境の改善の試行

本工事は、現場環境及び女性も働きやすい現場環境の整備について、監督職員と協議し、変更契約においてその整備に必要な費用を計上する試行工事である。

なお、トイレは男女別トイレを基本とし、次の設備・機能を満たすものとする。

- 1) 洋式便座
- 2) 簡易水洗
- 3) 臭い逆流防止機能（フラッパー機能）
- 4) 容易に開かない施錠機能（二重ロック等）
- 5) 照明設備（電源がなくても良いもの）
- 6) 付属設備（衣装掛け等のフック付き又は荷物置き場・鏡・手洗いの機能）

第12章 定めなき事項

この仕様書に定めない事項又は本工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

工 事 数 量 表

令和6年度 東北農政局いわき地域センター常磐上矢田庁舎解体撤去工事				
工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
I 直接工事費				
1. 直接仮設				
1) 外部足場				
枠組本足場（手すり先行方式）900枠	2 箇月 12m未満	掛 m^2	509.0	
安全手すり	2 箇月	掛 m	66.8	
防音シート	2 箇月	掛 m^2	509.0	
枠組本足場運搬	4 t 車	m^2	509.0	
安全手すり運搬	4 t 車	m	66.8	
防音シート運搬	4 t 車	m^2	509.0	
粉じん飛散防止放水	解体放水するコンクリート量 地上RC解体+RC土間コン	m^3	214.0	
2) 内部足場				
内部脚立足場	1.5 箇月 H=1.8m 階高4.0m以下庁舎1・2階	床 m^2	398.0	
内部脚立足場運搬	4 t 車	m^2	398.0	
3) 石綿除去煙突工事直接仮設				
枠組本足場（手すり先行方式）600枠	2 箇月 12m未満、防音シート養生共	掛 m^2	37.9	
屋上部作業区画作成	床プラスチックシート t=0.1mm（二重）	m^2	26.5	
〃	壁プラスチックシート t=0.1mm（一重）	m^2	37.9	
〃	屋根コンパネ t=0.1mm 内部プラスチックシート t=0.1mm	m^2	26.5	
屋上部作業区画養生		m^2	90.9	
各室内作業区画作成	床プラスチックシート t=0.1mm（二重）	m^2	27.0	1階会議室、2階センター長室、2階事務室
〃	壁LGS65+PB+プラスチックシート 0.1mm	m^2	93.6	〃
仮設材運搬	安全衛生設備機器類共	式	1.0	
整理清掃後片付け		m^2	27.0	
4) 石綿除去外壁工事直接仮設				
枠組本足場（手すり先行方式）1200枠	2 箇月 12m未満	掛 m^2	509.0	
床養生	プラスチックシート t=0.15mm（二重）	m^2	336.0	5層
壁養生	プラスチックシート t=0.1mm（一重）	m^2	509.0	
天井養生	プラスチックシート t=0.1mm（一重）	m^2	67.2	足場天井面
仮設材運搬	安全衛生設備機器類共	式	1.0	
整理清掃後片付け		m^2	336.0	
2. 庁舎解体費				
2-1. 庁舎解体				
1) コンクリート解体				

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
基礎部躯体取壊し	均しコンクリート共 ニブラー バックホウ0.8m ³ 超低騒音 排対2 次 コンクリート量45.5m ³ 、鉄筋切断共	建m ²	199.0	基礎撤去部の根切り・埋戻し・敷均しを含む。
R C造地上部躯体取壊し	有筋 ニブラー バックホウ0.8m ³ 超低騒音 排対2次 コンクリート量214.2 m ³ (土間含む) 鉄筋切断共	延m ²	398.0	
機械運搬	11t車 バックホウ0.8m ³ 級 ニブラー	台	2.0	
2) 土工				
埋戻し	購入土 埋戻し用山砂	m ³	115.0	山砂は20%の割増しを含む。
機械運搬	11t車 バックホウ0.8m ³ 級	台	1.0	
機械運搬	11t車 ブルドーザー3 t	台	1.0	
3) 仕上材撤去				
仕上り等取壊し	・床仕上材 ビニール床タイル(アスベスト含有)、ビニール床 シート、塩ビ製OA床システム、塩ビタイル(75 mm) ・間仕切り壁(仕上材、下地材共) ・壁仕上材(ボード、合板張り) ・天井仕上材 アスベスト含有スレート(下地材共)、下地 材共、石綿セメント板(アスベスト含有)、木 毛セメント板塗上白セメント吹付(アスベスト 含有(電動ヒックにて撤去))	延m ²	398.0	
4) 防水材撤去				
屋根旧アスファルト防水撤去	厚5	m ²	314.0	
屋根改修シート防水撤去	厚1.5	m ²	314.0	
5) 建具等撤去				
S D 1 (枠共) 両開、フレームア、欄間、袖付撤去	3480×2600mm 1箇所 人力	m ²	9.1	
S D 2 (枠共) 両開、フレームア、欄間、袖付撤去	3480×2600mm 1箇所 人力	m ²	9.1	
S D 3 (枠共) 両開、スチールドア、ガラス付撤去	1700×2030mm 1箇所 人力	m ²	3.5	
S D 4 (枠共) 片開、スチールドア撤去	1700×1800mm 1箇所 人力	m ²	1.3	
S D 5 (枠共) 片開、スチールドア撤去	850×2030mm 1箇所 人力	m ²	1.7	
A D 1 (枠共) 両開、アルミア、引違欄間付撤去	1700×2500mm 1箇所 人力	m ²	4.3	
S H 1、鋼製シャッター撤去(レール共)	4915×2400mm 1箇所 人力	m ²	11.8	
S H 2、鋼製シャッター撤去(レール共)	2300×2400mm 1箇所 人力	m ²	5.5	
A W 1 (枠共) 3連引違窓、Fix付撤去	6410×1750mm 4箇所 人力	m ²	44.9	
A W 2 (枠共) 2連引違窓撤去	3670×1750mm 2箇所 人力	m ²	12.9	
A W 3 (枠共) 2連引違窓、Fix付撤去	4940×1750mm 5箇所 人力	m ²	43.2	
A W 4 (枠共) 引違窓撤去	1800×1750mm 4箇所 人力	m ²	12.6	
A W 5 (枠共) 引違窓、ガラス付撤去	1800×1660mm 1箇所 人力	m ²	3.0	
A W 6 (枠共) 片開、アルミFix吐出窓付撤去	800×1750mm 2箇所 人力	m ²	2.8	
A W 7 (枠共) 2連引違窓、一部Fix、ガラス付撤去	6410×1750mm 1箇所 人力	m ²	11.2	
A W 8 (枠共) 2連引違窓撤去	3670×350mm 1箇所 人力	m ²	1.3	
W D 1 (枠共) 両開、ベニアフラッシュ戸、欄間付撤去	1600×2600mm 3箇所 人力	m ²	12.4	
W D 2 (枠共) 片開、ベニアフラッシュ戸、欄間付撤去	800×2600mm 8箇所 人力	m ²	16.7	
W D 3 (枠共) 片開、ベニアフラッシュ戸撤去	600×1800mm 1箇所 人力	m ²	1.1	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
WD 4 (枠共) 片開、ベニアフラッシュ戸撤去	500×1800mm 3箇所 人力	m ²	2.7	
WD 5 (枠共) 両開、ベニアフラッシュ戸撤去	1600×1900mm 3箇所 人力	m ²	3.0	
H 1 (枠共) 引違戸、フスマ、欄間付撤去	1700×2400mm 1箇所 人力	m ²	4.1	
H 2 (枠共) 引違戸、2段フスマ撤去	1800×1800mm 1箇所 人力	m ²	3.2	
P 1 (枠共) 引違戸、5枚建て撤去	4540×1750mm 1箇所 人力	m ²	8.0	
カーテン撤去		m ²	6.6	
ブラインド撤去	アルミ	m ²	44.6	
6) ガラス等撤去				
ガラス撤去	厚5	m ²	121.0	
7) 流し台撤去				
流し台撤去	1槽シンク、B=901~1200mm	台	1.0	
流し台撤去	1槽シンク、B=900mm以下	台	1.0	
吊り棚撤去	片面、B=1500mm以下	台	1.0	
8) 畳撤去				
畳撤去		畳	6.0	
2-2. 庁舎発生材積込運搬費				
1) 発生材積込費				
集積積込 (コンクリート類)	無筋コンクリート バックホ0.8m ³ 級、超低騒音、排対2次	m ³	259.0	
集積積込 (栗石)	栗石 バックホ0.8m ³ 級、超低騒音、排対2次	m ³	41.5	
集積積込 (内装材)	木くず バックホ0.8m ³ 級、超低騒音、排対2次	m ³	3.7	
集積積込 (コンクリート類)	タイル バックホ0.8m ³ 級、超低騒音、排対2次	m ³	2.3	
集積積込 (アスファルト防水材)	アスファルト防水材 バックホ0.8m ³ 級、超低騒音、排対2次	m ³	0.9	
集積積込 (ガラスくず)	ガラスくず バックホ0.8m ³ 級、超低騒音、排対2次	m ³	11.2	
集積積込 (廃プラくず)	廃プラくず バックホ0.8m ³ 級、超低騒音、排対2次	m ³	2.0	
集積積込 (石綿含有材:成形板)	密封処理 (2重梱包) バックホ0.8m ³ 級、超低騒音、排対2次	m ³	1.5	
2) 発生材運搬				
取壊し材運搬費 (コンクリート殻、くず)	DT10t、運搬距離L=15.5km以下	m ³	259.0	
取壊し材運搬費 (栗石)	DT10t、運搬距離L=15.5km以下	m ³	41.5	
取壊し材運搬費 (木くず)	DT10t、運搬距離L=49.8km以下	m ³	3.7	
取壊し材運搬費 (陶磁器くず、タイル)	DT10t、運搬距離L=9.5km以下	m ³	2.3	
取壊し材運搬費 (アスファルト防水材)	DT10t、運搬距離L=15.5km以下	m ³	0.9	
取壊し材運搬費 (ガラスくず)	DT10t、運搬距離L=9.5km以下	m ³	11.2	
取壊し材運搬費 (廃プラくず)	DT10t、運搬距離L=15.5km以下	m ³	2.0	
取壊し材運搬費 (石綿含有材)	DT10t、運搬距離L=22.5km以下	m ³	1.5	
3) 有価材積込・運搬・計量・集積				
有価材積込・運搬・計量・集積	場内集積 金属	t	3.2	
有価材積込・運搬・計量・集積	場内集積 鉄筋	t	26.4	
2-3. 庁舎廃棄物処理費				
1) 廃棄物処理費				

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
処理費（コンクリート殻、くず）		t	596.0	
処理費（栗石）		t	66.4	
処理費（木くず）		m ³	3.7	
処理費（陶磁器くず、タイル）		m ³	2.3	
処理費（アスファルト防水材）		m ³	0.9	
処理費（ガラスくず）		m ³	11.2	
処理費（廃プラ）		m ³	2.0	
処理費（アスベスト含有材 成型板類）		m ³	1.5	
産廃税		t	0.4	
3. 車庫解体費				
1) コンクリート解体				
鉄骨造車庫取壊し	S造 人力・機械併用 鉄骨カッター主体 30～50kg/m ²	延m ²	26.0	
基礎コンクリート取壊し	圧砕機主体 バックホウ0.8m ³ 地業・鉄筋切断・積込共 コンクリート量3.0m ³ (土間含む)	建m ²	26.0	基礎撤去部の根切り・埋戻し・敷均しを含む。
機械運搬	11t車 バックホウ0.8m ³ 級	台	1.0	
2) 土工				
埋戻し	購入土 埋戻し用山砂	m ³	1.4	山砂は20%の割増しを含む。
機械運搬	11t車 ブルドーザー3t	台	1.0	
3) 建具等撤去				
鋼製シャッター撤去		m ²	11.1	
4) 発生材積込費				
集積積込（コンクリート類）	無筋コンクリート バックホウ0.8m ³ 級、超低騒音、排対2次	m ³	4.4	
5) 発生材運搬				
取壊し材運搬費（コンクリート殻、くず）	DT10t、運搬距離L=14.4km以下	m ³	4.4	
6) 有価材積込・運搬・計量・集積				
有価材積込・運搬・計量・集積	場内集積 金属	t	1.0	
有価材積込・運搬・計量・集積	場内集積 鉄筋	t	0.4	
7) 廃棄物処理費				
処理費（コンクリート殻、くず）		t	10.2	
4. 付帯工				
1) 付帯工				
ネットフェンス撤去	H900・基礎ブロック共	m	20.5	
ネットフェンス撤去	H900、支柱切断含む	m	25.4	
コンクリート解体	大型ブレーカ、圧砕機併用	m ³	7.9	
アスファルト舗装撤去	厚50以下	m ³	23.7	
舗装版切断	t=5cm カッター バキューム式 切削深 20cm級 プレート22インチ コンクリート15cm	m	24.3	
コンクリート雨水桝撤去	450角、コンクリート蓋	箇所	5.0	
コンクリート雨水桝撤去	300角、コンクリート蓋	箇所	4.0	
埋設雨水排水管撤去	陶器製100φ	m	48.6	
植栽伐採、伐根	シュロ	本	7.0	
埋戻し（発生土）	バックホウ0.8m ³ 級 超低騒音 排対2次	m ³	29.0	
整形整地	10～20cm程度	m ³	131.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
再生砕石敷き均し	再生クラッシャーラン t 100 プルトーザー	m ³	87.3	再生クラッシャーランは16%の割増しを含む。
機械運搬	11t車 ブルドーザー3 t	台	1.0	
2) 立入防護柵設置				
立入防護柵設置 (H=1.5m)	松杭 φ90mm L=2m 鉄線3段 #8 亜鉛メッキ	m	89.2	
控え松丸太設置	φ90mm L=2m 9本 かすがい φ6mm L=90mm 亜鉛メッキ18本	式	1.0	
開口部鉄鎖 (H=1.5m)	ステンス鉄鎖(既設利用) ステンス打込丸環 φ5mm	箇所	1.0	真ちゅう錠前
3) 有価材置場設置				
有価材置場囲い (H=1.8m)	波形亜鉛鉄板 全損 B=12m 運搬含む	式	1.0	
4) 有価材積込・運搬・計量・集積				
有価材積込・運搬・計量・集積	場内集積 金属	t	0.4	
5) 発生材積込費				
集積積込 (陶器がら)	陶器がら バックホウ0.8m ³ 級、超低騒音、排対2次	m ³	1.6	
集積積込 (コンクリート類)	無筋コンクリート バックホウ0.8m ³ 級、超低騒音、排対2次	m ³	7.9	
集積積込 (アスファルト殻)	アスファルト殻 バックホウ0.8m ³ 級、超低騒音、排対2次	m ³	23.7	
集積積込 (伐根)	シュロ バックホウ0.8m ³ 級、超低騒音、排対2次	m ³	1.5	
集積積込 (枝葉)	シュロ バックホウ0.8m ³ 級、超低騒音、排対2次	m ³	1.9	
6) 発生材運搬費				
取壊し材運搬費 (陶器がら)	DT10t、運搬距離L=9.5km以下	m ³	1.6	
取壊し材運搬費 (コンクリート類)	DT10t、運搬距離L=15.5km以下	m ³	7.9	
取壊し材運搬費 (アスファルト殻、くず)	DT10t、運搬距離L=15.5km以下	m ³	23.7	汚泥含む
取壊し材運搬費 (伐根)	DT10t、運搬距離L=49.5km以下	m ³	1.5	
取壊し材運搬費 (枝葉)	DT10t、運搬距離L=49.5km以下	m ³	1.9	
7) 産廃処理費				
処理費 (陶器がら)		m ³	1.6	
処理費 (コンクリート類)		t	18.5	
処理費 (アスファルト殻、くず)		t	55.6	
処理費 (汚泥)		t	0.04	
処理費 (伐根)		t	1.1	
処理費 (枝葉)		t	0.8	
5. アスベスト撤去工事				
5-1. アスベスト煙突解体				
1) 安全衛生設備機器等				
セキュリティハウス設置	1階:1ヶ所、屋上:1ヶ所 (エアシャワー・更衣室共)	基	2.0	
負圧除じん機損料	HEPAフィルター含む	箇所	2.0	
高性能真空掃除機損料	HEPAフィルター含む	台	2.0	
エアレスガンユニット損料	薬剤圧送ポンプ含む	台	1.0	
仮設発電機	25KVA	基	3.0	
廃棄物保管庫	3坪ハウス	箇所	1.0	
防護服、靴カバー、手袋	4回/日×7人×3週間 (5日/週)	セット	420.0	
防塵マスク交換用ろ過材	1セット/日×7人×3週間 (5日/週)	セット	105.0	
超高压洗浄車	設置・損料共	日	1.0	
搬入	資材・機材	式	1.0	
2) 石綿管除去処理				

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
粉じん飛散抑制剤吹付け	煙突内面	m	9.5	
石綿管除去工	超高压ウォータージェット・ 1000～2450kgf/cm ²	m	9.5	
粉じん飛散防止剤吹付け工	除去面・隔離養生面	m	9.5	
汚泥等処理工	吸水性凝固樹脂：廃棄袋二重密封	t	1.8	
水質検査		式	1.0	
汚泥処理場設置	設置・損料共	式	1.0	
搬入	資材・機材	式	1.0	
3) 石綿管廃棄物積込運搬				
石綿管廃棄物積込		日	1.0	
石綿管廃棄物運搬	4 t アームロール車	台	2.0	
4) 石綿粉じん濃度測定				
石綿粉じん測定				
処理作業前	処理作業室内 3点	点	3.0	
〃	施工区画周辺 3点	点	3.0	
処理作業中	処理作業室内 3点	点	3.0	
〃	施工区画周辺 3点	点	3.0	
処理作業後	処理作業室内 3点	点	3.0	
〃	施工区画周辺 3点	点	3.0	
報告書作成	5 部	式	1.0	
1) 安全衛生設備機器等				
高性能真空掃除機損料	HEPAフィルター含む	箇所	5.0	
エアレスガンユニット損料		箇所	5.0	
仮設発電機	25KVA	基	3.0	
廃棄物保管庫	3坪ハウス	箇所	1.0	
防護服、靴カバー、手袋	4回/日×5人×8週間 (5日/週)	セット	800.0	
防塵マスク交換用ろ過材	1セット/日×5人×8週間 (5日/週)	セット	200.0	
2) 外壁吹付材石綿除去処理	外壁吹付材石綿除去処理			
粉じん飛散抑制剤吹付け	壁表面	m ²	155.0	
外壁吹付材石綿除去	壁 (リシン、複層塗材共) 集じん装置付きデイスクグラインダー工法	m ²	155.0	
粉じん飛散防止剤吹付け	除去面・隔離養生面	m ²	155.0	
除去石綿処理	密封処理	m ²	155.0	
粉じん飛散抑制剤吹付け	壁表面	m ²	147.0	
内装・軒天吹付材石綿除去	内部梁型、外部軒天 (白セメント) 集じん装置付きデイスクグラインダー工法	m ²	147.0	
粉じん飛散防止剤吹付け	除去面	m ²	147.0	
除去石綿処理	密封処理	m ²	147.0	
3) 外壁吹付材石綿廃棄物積込運搬				
外壁吹付材石綿廃棄物積込	(外壁分)	日	1.0	
外壁吹付材石綿廃棄物運搬	4 t アームロール車(外壁分)	台	3.0	
外壁吹付材石綿廃棄物積込	(内部・軒天分)	日	1.0	
外壁吹付材石綿廃棄物運搬	4 t アームロール車(内部・軒天分)	台	3.0	
4) 石綿粉じん濃度測定				
石綿粉じん測定				

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
処理作業前	処理作業室内 2点	点	2.0	
〃	施工区画周辺又は敷地境界 2点	点	2.0	
処理作業中	処理作業室内 2点	点	2.0	
〃	セキュリティゾーン 1点	点	1.0	
〃	負圧除塵装置排出口 1点	点	1.0	
〃	施工区画周辺又は敷地境界 4点	点	4.0	
処理作業後（隔離シート撤去前）	処理作業室内 2点	点	2.0	
〃	施工区画周辺又は敷地境界 4点	点	4.0	
処理作業後	処理作業室内 2点	点	2.0	
〃	施工区画周辺又は敷地境界 4点	点	4.0	
報告書作成	5 部	式	1.0	
5-3. 石綿廃棄物処理費				
煙突材石綿管廃棄物処分	廃プラスチックシート共(煙突分)	m ³	16.0	
外壁吹付材石綿廃棄物処分	廃プラスチックシート共(外壁分)	m ³	24.0	
外壁吹付材石綿廃棄物処分	廃プラスチックシート共(内部・軒天分)	m ³	24.0	
産廃税		t	16.6	
6. 電気設備撤去工事				
6-1. 電気設備撤去費				
防水コンセント撤去	2P15A×3+ET	組	4.0	
フロアコンセント撤去	2P15A×2	組	1.0	
埋込コンセント撤去	2P15A×1 プレート共	組	12.0	
埋込コンセント撤去	2P15A×2 プレート共	組	1.0	
埋込コンセント撤去	2P15A×1+ET プレート共	組	3.0	
埋込コンセント撤去	2P15A(E)×1 プレート共	組	1.0	
埋込コンセント撤去	2P15A(E)×2 プレート共	組	2.0	
埋込コンセント撤去	2P15A×2プレート・露出ボックス共	組	5.0	
埋込コンセント撤去	2P15A×4プレート・露出ボックス共	組	4.0	
埋込コンセント撤去	2P15A(E)×1プレート・露出ボックス共	組	2.0	
埋込コンセント撤去	2P15A(E)×2プレート・露出ボックス共	組	5.0	
埋込引掛コンセント撤去	2P15A(E)×1プレート・露出ボックス共	組	10.0	
分電盤A撤去	銅板製 露出型、KS 3P 30AT、低圧コンデンサ	面	2.0	
分電盤B撤去	銅板製 埋込型、KS 3P 60AT	面	1.0	
分電盤C撤去	銅板製 埋込型、KS 3P 60AT、低圧コンデンサ	面	1.0	
分電盤D撤去	銅板製 露出型、MCCB・ELCB 3P 30AT	面	1.0	
分電盤E撤去	銅板製 露出型、MCCB・ELCB 2P 30AT	面	1.0	
電灯盤A撤去	銅板製 露出型、MCCB・ELCB 1P 30AT×8、MCCB・ELCB 3P 60AT×2、MCCB・ELCB 3P 100AT×3	面	1.0	
電灯盤B撤去	銅板製 埋込型、MCCB・ELCB 2P 30AT×6、MCCB・ELCB 3P 30AT×1	面	1.0	
電灯盤C撤去	銅板製 埋込型、MCCB・ELCB 1P 30AT×10、MCCB・ELCB 3P 30AT×1	面	1.0	
電灯盤D撤去	銅板製 露出型、MCCB・ELCB 1P 30AT×8、MCCB・ELCB 3P 60AT×1	面	1.0	
引込盤撤去	銅板製 屋外防水型、MCCB・ELCB 2P 30AT×1、MCCB・ELCB 3P 100AT×2	面	1.0	
電線撤去	CV38mm2-3Cコアシ	m	12.0	
電線撤去	CV60mm2-3Cコアシ	m	7.0	
電線撤去	IV2.0mm管内	m	14.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
電線撤去	VVR2. 6mm-3Cコロガシ	m	30.0	
電線撤去	CV3. 5mm2-3C管内	m	15.0	
電線撤去	CV60mm2-3C管内	m	4.0	
電線撤去	CV38mm2-3C管内	m	4.0	
電線管撤去	E19 露出	m	7.0	
電線管撤去	VE54 露出	m	4.0	
電線管撤去	VE42 露出	m	4.0	
ﾌﾞﾙｯｸｽ撤去	150×150×100鋼板製	個	1.0	
ﾌﾞﾙｯｸｽ撤去	200×200×100鋼板製	個	1.0	
ﾌﾞﾙｯｸｽ撤去	300×300×200鋼板製	個	2.0	
ﾌﾞﾙｯｸｽ撤去	300×300×200樹脂製	個	1.0	
照明器具撤去	FL40W×2H型 露出	台	17.0	
照明器具撤去	FL40W×2V型 露出	台	14.0	
照明器具撤去	FL40W×2直付OAルーバー型 露出	台	3.0	
照明器具撤去	FL40W×2埋込下面開放	台	6.0	
照明器具撤去	FL20W×2V型 露出	台	5.0	
照明器具撤去	FCL30W×1埋込下面アクリ	台	11.0	
照明器具撤去	FCL30W×1+FCL40W×1 コードペンダント 埋込	台	1.0	
照明器具撤去	IL40W×1直付シーリング	台	4.0	
照明器具撤去	IL60W×1直付シーリング	台	15.0	
照明器具撤去	FL20W×1防犯灯 露出	台	4.0	
防雨入線カバー撤去	樹脂製	個	4.0	
埋込スイッチ撤去	1P15A×1ﾌﾟﾚｰﾄ共	組	12.0	
埋込スイッチ撤去	1P15A×2ﾌﾟﾚｰﾄ共	組	1.0	
埋込スイッチ撤去	1P15A×3ﾌﾟﾚｰﾄ共	組	4.0	
埋込スイッチ撤去	1P15A×4ﾌﾟﾚｰﾄ共	組	1.0	
埋込スイッチ撤去	1P15A×1+1P4A(PL)×1ﾌﾟﾚｰﾄ共	組	4.0	
チャーム撤去	ﾌﾟﾚｰﾄ共	個	1.0	
カバーﾌﾟﾚｰﾄ撤去	ステンレス製	枚	1.0	
ﾌﾞｻﾞｰ撤去		個	2.0	
ﾉｽﾞﾙﾌﾟﾚｰﾄ撤去	新金属製	枚	1.0	
ﾓｼﾞｭｰﾗｰｼﾞｬｯｸ撤去	ﾌﾟﾚｰﾄ共	組	6.0	
保安器盤撤去	鋼板製 埋込型	面	1.0	
アンテナ撤去	TVアンテナ2段 UHF20EL, VHF12EL	組	1.0	
アンテナポール撤去	3m物 支持金具共	本	1.0	
電線撤去	EBT0. 4-2Pコロガシ	m	12.0	
電線撤去	IV1. 6mm管内	m	681.0	
電線撤去	IV2. 0mm管内	m	236.0	
電線撤去	TIV0. 8mm-2C管内	m	18.0	
電線管撤去	E19 インヘイ	m	369.0	
電線管撤去	E25 インヘイ	m	46.0	
6-2. 発生材積込運搬費				
取壊し材積込運搬費（廃ﾌﾟﾗ）	電線管等	m ³	0.04	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
取壊し材積込運搬費 (ｶﾞﾗｽ)	蛍光灯	m ³	0.5	
6-3. 廃棄物処理費				
処理費 (廃ﾌﾟﾗ)	電線管等	m ³	0.04	
処理費 (ｶﾞﾗｽ)	蛍光灯	m ³	0.5	
7. 機械設備撤去工事				
7-1. 機械設備撤去費				
冷媒用被覆銅管撤去(共用配管)	φ6.35×φ9.52	m	5.3	
冷媒用被覆銅管撤去(共用配管)	φ9.52×φ19.05	m	18.3	
硬質塩化ビニル管撤去(共用配管)	ﾄﾞﾚﾝ 25A	m	8.9	
硬質塩化ビニル管撤去(屋外配管)	ﾄﾞﾚﾝ 25A	m	9.4	
硬質塩化ビニル管撤去(地中配管)	ﾄﾞﾚﾝ 25A	m	9.9	
配管用炭素鋼鋼管撤去(共用配管)	油、ｶﾞｽ管 20A	m	2.6	
配管用炭素鋼鋼管撤去(屋外配管)	油、ｶﾞｽ管 15A	m	3.8	
配管用炭素鋼鋼管撤去(屋外配管)	油、ｶﾞｽ管 20A	m	12.0	
配管用炭素鋼鋼管撤去(地中配管)	油、ｶﾞｽ管 20A	m	8.1	
銅管撤去(共用配管)	φ10	m	49.6	
銅管撤去(屋外配管)	φ10	m	7.1	
水道用耐衝撃性硬質塩ビ管撤去(地中配管)	20A	m	32.2	
水道用耐衝撃性硬質塩ビ管撤去(地中配管)	25A	m	21.3	
硬質塩ビライニング鋼管撤去(共用配管)	20A	m	8.1	
硬質塩ビライニング鋼管撤去(専用配管)	20A	m	26.7	
硬質塩ビライニング鋼管撤去(専用配管)	25A	m	1.0	
硬質塩化ビニール管撤去(共用配管)	排水・通気 40A	m	2.2	
硬質塩化ビニール管撤去(共用配管)	排水・通気 50A	m	5.0	
硬質塩化ビニール管撤去(専用配管)	排水・通気 40A	m	14.1	
硬質塩化ビニール管撤去(専用配管)	排水・通気 50A	m	18.4	
硬質塩化ビニール管撤去(専用配管)	排水・通気 75A	m	10.9	
硬質塩化ビニール管撤去(専用配管)	排水・通気 100A	m	3.2	
硬質塩化ビニール管撤去(地中配管)	排水・通気 100A	m	14.1	
耐熱性硬質塩化ビニル管撤去(専用配管)	20A	m	10.0	
耐熱性硬質塩化ビニル管撤去(屋外配管)	20A	m	1.3	
スパイラルダクト撤去	φ100	m	15.9	
矩形ダクト撤去	0.5t	m ²	2.0	
電気式ルームエアコン撤去	室内外機 壁掛型 C:2.5kw	台	1.0	
電気式パッケージエアコン撤去	室内外機 天吊型 C:4.5kw	台	1.0	
電気式パッケージエアコン撤去	室内外機 床置型 C:12.5kw	台	3.0	
同上室外機搬出費	有価材積込・運搬・計量・集積 場内集積 金属	t	0.4	
冷媒ガス引き抜き処分	C:4.5kw	台	1.0	
冷媒ガス引き抜き処分	C:12.5kw	台	3.0	
F F 暖房機撤去	H:6.28kw	台	7.0	
地上式オイルタンク撤去	鋼板製 地上式 容量:450L	基	1.0	
オイルサーパー撤去		台	1.0	
天井埋込形換気扇撤去		台	4.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
換気扇撤去	15cm	台	1.0	
換気扇撤去	20cm	台	2.0	
換気扇撤去	25cm	台	1.0	
SUS製排気フード撤去	1100×600×H400	m ²	1.4	
パイプフード撤去	φ100	個	4.0	
パイプフード撤去	φ200	個	1.0	
ウェザーカバー撤去	20cm用	個	1.0	
洋風便器撤去	ロータンク式	組	2.0	
小便器撤去	壁掛ストール形	組	2.0	
洗面器撤去	水栓1個付	組	2.0	
水栓撤去	13mm	個	3.0	
水栓撤去	散水栓 (BOX共)	個	1.0	
量水器ボックス撤去	樹脂製 25mm用	個	1.0	
床上掃除口撤去	COA 50A	個	1.0	
床上掃除口撤去	COA 80A	個	1.0	
床上掃除口撤去	COA 100A	個	1.0	
通気金物撤去	VA-1	個	1.0	
インバート桤撤去 (蓋共)	SC-2 H=600以下	組	1.0	
溜め桤撤去 (蓋共)	RC-2 H=800以下	組	1.0	
溜め桤撤去 (蓋共)	RC-2 H=1000以下	組	1.0	
電気温水器撤去	置台式 10L	台	1.0	
ガス湯沸器撤去	屋外壁掛式 5号	台	2.0	
ガス湯沸器撤去	屋外壁掛式 16号	台	1.0	
ガスカラン撤去	1口	個	2.0	
浄化槽解体撤去	30人槽 汲取り清掃費含む	式	1.0	
給排水管保温材撤去 (ポリスチレンフォーム)	20A	m	13.7	
給排水管保温材撤去 (ポリスチレンフォーム)	40A	m	2.6	
給排水管保温材撤去 (ポリスチレンフォーム)	50A	m	2.6	
給湯管保温材撤去 (グラスウール)	20A	m	11.3	
配管切断 (樹脂類) 地中	25A (給水管)	箇所	1.0	
配管切断 (樹脂類) 地中	100A (排水管)	箇所	1.0	
機械運搬	11t車 バックホウ0.13m ³ 級	台	1.0	
根切り 機械	BH0.13	m ³	64.1	
埋戻し (購入土 埋戻し用山砂)	バックホウ0.8m ³ 級 超低騒音 排 対2次	m ³	28.0	山砂は20%の割増し を含む。
埋戻し (発生土)	バックホウ0.8m ³ 級 超低騒音 排 対2次	m ³	49.8	
7-2. 発生材積込運搬費				
取壊し材積込運搬費 (樹脂類)		m ³	10.6	
取壊し材積込運搬費 (陶器がら)		m ³	1.0	
取壊し材積込運搬費 (コンクリート類)		m ³	2.7	
7-3. 廃棄物処理費				
処理費 (樹脂類)		m ³	10.6	
処理費 (陶器がら)		m ³	1.0	
処理費 (コンクリート類)		t	6.8	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
II 共通費				
1. 共通仮設費				
1) 共通仮設費（積上げ）				
敷き鉄板設置・撤去	存置4ヶ月、t22	m ²	27.0	
敷き鉄板運搬	11t車	m ²	27.0	
仮囲い設置・撤去	シート張りH3m 4ヶ月 運搬共	m	86.3	
シートゲート設置・撤去	W5.4m×H4.5m 4ヶ月 運搬共	箇所	1.0	
交通誘導員B		人	44.0	
仮設散水量水器設置・撤去	40A、手続申請共 、使用後量水器を市へ返還	個	1.0	